事例No.	3685
公表年度	R7
団体の属性	一般市
団体名	福岡県うきは市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・ICT

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

「うきはファンクラブ」を活用した地域経済活性化

出典

地方自治研究機構　先進事例調査研究（令和7年度）

「うきはファンクラブ」を活用した地域経済活性化

取組のあらまし

取組団体　福岡県うきは市

取組内容　うきは市出身者を中心に「UKIHA FAN CLUB」（以下「うきはファンクラブ」という。）を設立し、うきは市が好きな方との継続的な接点を構築することで、地域経済の活性化を図る取組。

1　福岡県うきは市の概要

人　　口	27,382 人	令和７年１月１日現在（住民基本台帳人口）
職 員 数	217 人	令和６年４月１日現在（一般行政部門）
総 面 積	117.46 ㎢	令和７年１０月１日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 １　福岡県うきは市の位置図

出所：うきは市ホームページ

2　取組の背景・目的

(1) 地域内経済循環が求められる背景

うきは市には、年間 200 万人もの観光客が市内に訪れている。その一方で、地域内での経済循環の動きが鈍く、域外への消費流出が多いことから、域内経済循環率が低いという問題点を抱えていた。少子高齢化、人口の減少傾向が続く中で、地域経済の衰退に歯止めをかけるためにも、域内消費の喚起と域外からの外貨獲得による地域経済活性化の必要性が高まっていた。

(2) 地域経済活性化の手段としてのファンクラブ設立

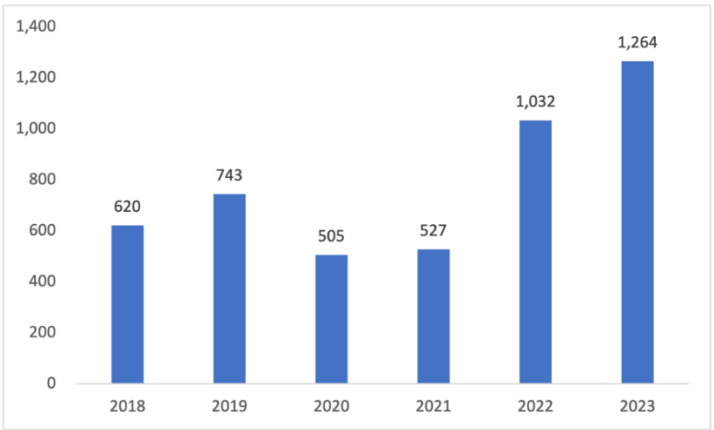
地域経済活性化を図るための方向性として、うきは市が好きなファンとの関係性の強化による関係人口の創出を目指した。うきはファンクラブは、ファンを対象にイベントや地域産品の情報を定期的・効率的に発信し、関係人口の創出及び関係人口を活用した地域経済活性化を目指すための仕組みとして誕生した。

3　取組内容

(1) うきはファンクラブの概要

うきはファンクラブは、うきは市出身の方、うきは市が好きな方等の全国各地の「うきは市を応援してくれるファン」に向けて、うきは市全域の観光スポットやお店情報等の旬な情報を発信することで、ファンとの継続的な接点を構築するための仕組みとして 2018 年に誕生した。2018 年度の設立当初の会員数は 620 名であった。2021 年度までは会員数が横ばいで推移していたが、ファンクラブ新規登録者を対象としたノベルティ贈呈やファンクラブの公式アプリケーションを活用したスタンプラリーの実施等の広報活動の結果、2023 年度には会員数が 1,264 名まで増加している。（図表 2）。

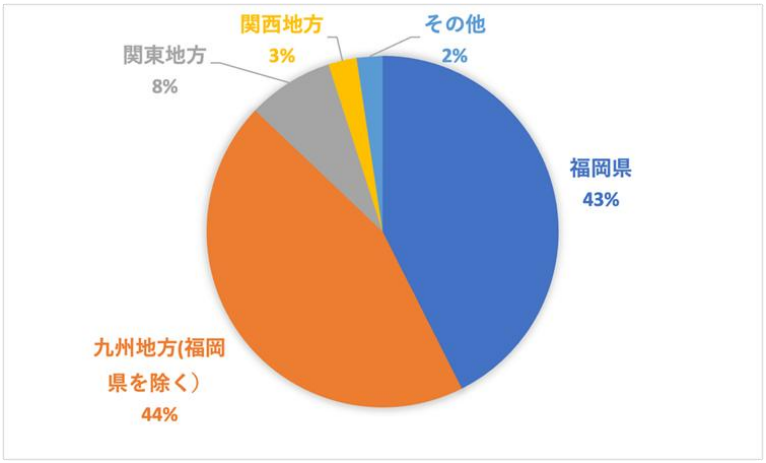
図表 2　会員数の推移（単位：名）



出所：うきは市提供資料より当機構作成

会員の居住地（2023 年度末）は、都道府県レベルでは、福岡県が最も多く 538 名であり、内訳は、うきは市内 67 名、うきは市外 471 名である。福岡県以外の会員の居住地を地方レベルで見れば、九州地方（福岡県除く）が最も多く 563 名、関東地方 100 名、関西地方 33 名、その他地方 30 名である。福岡県を含む九州地方の会員が全体の 87%を占めている点に特徴がある（図表 3）。

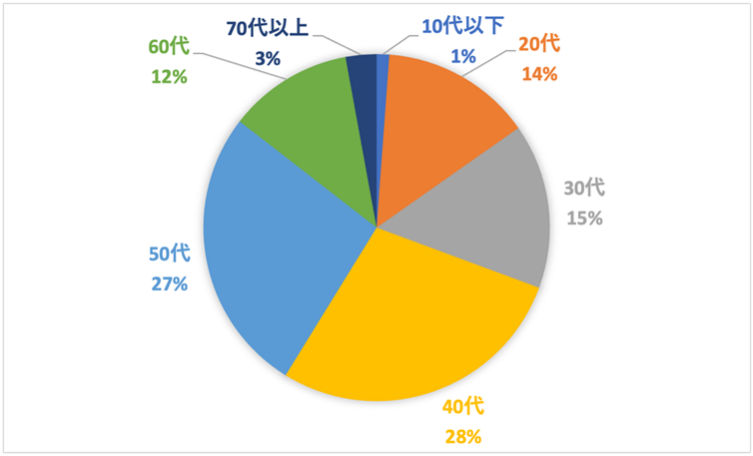
図表 3　地域別の会員数の割合（2023 年度末）



出所：うきは市提供資料より当機構作成

また、会員の年齢層は、40 代から 50 代が最も多く、全体の過半数を占めている（図表 4）。

図表 4　会員の年齢層の割合（2023 年度末）



出所：うきは市提供資料より当機構作成

ファンクラブ会員への情報発信は、うきは市ファンクラブの公式アプリケーション「うきはファンクラブ」（以下「ファンクラブアプリ」という。）を中心に行われている。ファンクラブアプリを介した会員登録を通じて、居住地や年齢等の会員属性を把握することが可能であり、イベント出展時のリアルタイムな情報発信等のターゲットを絞ったアプローチを可能としている。

ファンクラブ会員は、ファンクラブアプリを利用することで、うきは市の旬な情報へのアクセスや観光地・飲食店のデジタルマップの活用、デジタル会員証の掲示によるポイント制度の活用や割引サービスを受けることができる（図表 5）。情報発信という点では、目的別にたべる・みる・かう・たいけん・とまる・うきはの湯（温泉）の６つにカテゴリ分けした上で、各スポットの場所と具体的な施設内容を紹介する等、ファンクラブ会員のニーズに合わせた効果的な情報を発信している。

図表 5　ファンクラブアプリの UI と主な機能の一例

出所：ファンクラブアプリより当機構作成

(2) うきはファンクラブの推進体制

うきはファンクラブは、うきは市うきはブランド推進課とうきは観光みらいづくり公社により運営されている。うきは市うきはブランド推進課が会員拡大の促進やファンクラブアプリの保守契約を担い、うきは観光みらいづくり公社がファンクラブアプリの運用全般と会員向けの情報発信、会員向けイベントの企画・開催を担っている。かつては、うきは市単独でファンクラブを運営していたが、「第２期うきは市ルネッサンス戦略」において 2021 年度から 2025 年度の５か年で、関係人口拡大の KPI として、ファンクラブ会員の増加を目標値として掲げたことを受けて、会員拡大の更なる促進のために、ファンクラブ拡充事業をうきは観光みらいづくり公社へ業務委託することになった。

(3) 会員との関係深化に向けた創意工夫の取組

うきはファンクラブが実施する会員との関係深化に向けた創意工夫の取組として、ア　リアルタイムな情報発信、イ　会員との交流機会の創出、ウ　デジタルスタンプラリーの開催が挙げられる。

ア リアルタイムな情報発信

うきは市が関東や関西方面、福岡市圏域のプロモーションイベント等の各種イベントに参加する際には、その地域に居住する会員を対象にファンクラブアプリのプッシュ通知機能を通じて、リアルタイムな情報発信を行なっている。ファンクラブアプリのプッシュ通知による情報発信が、会員が実際に来場するきっかけとなっている。

イ 会員との交流機会の創出

① オンラインミーティングの実施

令和２年２月に、東京の福岡県アンテナレストラン「福扇華」において、ファンクラブ会員を対象とした初のイベントとなる「ファンクラブミーティング」の開催を計画するも､新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により中止を余儀なくされた。

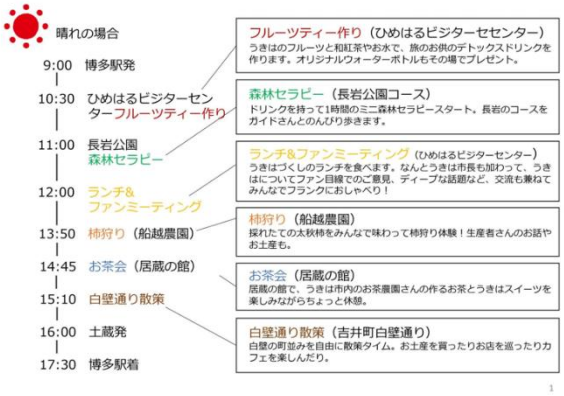
その後、会員から開催を希望する声もあり、オンラインによるミーティングを令和３年の１月と２月に開催し、それぞれ 26 名、30 名が参加し、好評を得た。

その後は、令和３年度から５年度まで、年間３～４回のペースで「うきはオンラインチャンネル」として、オンラインイベントを開催し、ふるさと納税の返礼品提供事業者等、地元の方に出演してもらい、会員へ対して発信と交流を図った。

② 会員限定バスツアーの開催

新型コロナウイルス感染症が５類化された令和５年度以降は、ファンクラブ会員とのリアルな交流を目的とした､会員限定の日帰りバスツアーを開催している｡「うきはともっと関わる」をコンセプトとし、観光に来るだけでは味わうことのできない、地元の人との交流に重点を置いた特別な体験型ツアーを実施している（図表 6)。例えば、うきは市のフルーツを使ったフルーツティー作りや柿狩り体験、うきは市長とのランチ交流会等のツアー内容を用意している。2023 年度に開催した計２回のバスツアーでは、いずれも定員に達し、ファンクラブ会員から好評を博している。

図表 6　会員限定バスツアーの募集チラシ（2023 年度）とスケジュール例



出所：うきは観光みらいづくり公社ホームページ

③ 商品開発プロジェクト

令和６年度より、さらに、「大好きなうきはで一緒に何かを行いたい」という会員の声に応え、会員を絞った形で、ファンクラブ会員と地元事業者やみらいづくり公社スタッフとともに、うきはのお土産を作る企画を進めている。令和６年 11 月に完成した第１弾の「うきはドライフルーツティー」は、完売するなどの好評を博している。

4　成果・課題

(1) 本取組の成果

うきはファンクラブの成果として、ファン層に向けた関係性強化のための一歩踏み込んだアプローチが可能となった点が挙げられる。ファンクラブアプリの会員登録でうきは市のファン層の属性データを把握することが可能となったため、うきは市では、属性データを活用し、イベントの開催地に合わせたリアルタイムな情報発信等を通じてイベントの来場者数の増加につなげている。ファン層の属性データの蓄積は、今後のプロモーション活動等の施策展開における活用可能性も示唆される。

(2) 今後の課題

うきはファンクラブの運営上の課題として、ア 担当職員の人員不足への対応、イ ファンクラブアプリの魅力向上が挙げられる。

ア 担当職員の人員不足への対応

現在の運営体制は、うきは市職員が１名とうきは観光みらいづくり公社１名の２名体制である。会員数の増加に伴い、業務負荷も増加する中で、マンパワーの不足が懸念される。円滑な事業運営を継続していくための体制作りが望まれる。

イ ファンクラブアプリの機能向上

ファンクラブアプリを開発してから年数が経ち、デザイン面や実装できる機能等の面で改善の余地が見られるようになった。一方で、機能改修にあたっては、その都度追加で発生する費用がネックとなっている。ファンクラブアプリはファンクラブ制度の根幹に関わるシステムであり、今後、アプリの機能をいかに改善していくかが課題である。

関連・参考資料

総務省ホームページ「関係人口ポータルサイト UKIHA FAN CLUB 及び企業パートナー制度を活用したファン人口拡大事業」
https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/model_detail/h30_12_ukihashi.html
うきは観光未来づくり公社ホームページ「うきはファンクラブ日帰りバスツアー参加者募集！」
https://ukihalove.jp/information/information-3790/